幼稚園保育に於ける時局的反省の問題（四）

前 號 目 次

一、時局対策としての保育事業

二、時局保育の内在的反省

三、国民精神総動員の三標語

四、盡忠報国心の教育

五、国家心の実感

六、幼稚園に於ける個人主義の注意

七、盡忠持久

八、持久性の養成の実際

倉橋 怳 三

筆記 要 領

講 習
問題を一筋が重要にぶつけているのです。その意味

に於いて今日の観、今後の一件、又は大々の堅忍持久間

題でありますが、これから先、長い国際問題をして居る

今我々が解決すべき事題あります。幼児期から堅忍持久性の養成

で云ふ事を目指して於ら保育して行くべきではないか

う云ふ事になる譜であります。

その堅忍持久性の教育に於て實際上重要な云ふ点に就て気

をつけるなら、幼児期に就ては、或は神経そのもの、擁護で

あるも事か、その他色々の事に就ては、或は神経そのもの、擁護で

来る如き覚えをして居るのではありませんか。例へば皆様に於ては聴

き取る一面そのか邪念が示せぬ處の、或る目的をも

つつ保育を出発させて行く。此方から今日は出来なさる

ような課業的な保育でなくて、目的を元にして子供の

生活を誘導して行く。或は誘導保育等を申して居ら

うが、要するに或る目的を子供の目的の為に色々な生活が子供自

身の中に出来てやるようになる。其の時間、その日、その時先生に

及くう云ふ事をしま

す。その時間、その日、その時に先生々が新う云ふ事をしま

せうか。
事ばかりでなく、一貫した生活、生活の一貫性、さ
う云ふ事がある。今月の問題に
なって居るのであります。

長期挑戦、その方に要求されることを忍ぶ、
懸命持久はどんなに困難
がついても耐えて行く、何時迄戰争が続く
ても問題ないで

元に戻って、この七月に於て事變が始まりました一週年
の記念を致しましたが、その振り返る事、三年、五年、十年
に出前の云ふ元でも何も元元に返す。元に戻すか云ふのは事
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。

何時でもそれを

戴く云ふ意味、子供が見たら Haiti、何と云ふその
種の事をして居るかこ雲
件出前と元でも何時でも元元に返す。
私の子供は先生に親しいので、いつでも云うことができます。前と同じ一つのことを言えるのは、自分自身の考え方が変わりません。自分自身の考え方を変えることなく、同じことを言えるのです。
申し訳ありません。その子が生活の中で始めたら出発点であるため、子供が自由遊びをして居ります間に皆さんは始巻線になると思いますが、堅忍持久性のありませぬ子供は別様で遊んで居ります。雲ふのはきrule束した譜ではありませぬが、その遊びの出発点を終持つつちへとつちへ即して遊んで居る。堅忍持久性のない子供はその出発点を楽々と捨てる。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。

途中で止めては駅目だよ、雲ふの途中で雲ふ事は出発点へ戻って始めめて生活の繼續性の中で言へる言葉でありました。途中で止めては駅目だよ、途中で止めては駅目だよ。
中止して来るのであります。若しこの盆を押さうこうします、この盆はすっごい滑る若もしもが釘づけされて居りまして非常に重いものでありましても楽に私は私が動かす事が出来ない時、私の生活力は抵抗に應じて出て来る云ふのが原因であります。生活力は抵抗に應じて出

次から次へと増して行く力。斯る云ふ意味になるのであります。それは抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へることが出来ます、それは抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力、云ふ事に依って抵抗を與へすることが出来ます。その抵抗を與へることに依って次から次へと出て行く力。
ありま。殊によろこびましたならばそれにリズムを添えて楽
々出し行くるものが渋谷あるのでありま。今日の幼稚園
の芸術に仕組まれた遊びはみんな楽々おばけに拍子よく出
て行く。さっか云ふ行関で出来て居ります。抵抗を増して
もう少し力を増して来て云ふような事は今日の遊びには
非常に少分思ひます。別室で育ちましただけ、自然の色々な
中で育ちましたが、自らさう云ふ機会が渋谷ありま、
中で育ちました者は自らさう云ふ機会が渋谷ありま、
君一すその根っこを持って来てくる、ささ言つても重いの
であります。何故の気なしに拔こうとしても重いのであり
うづしでも重いのであります。或る云ふような事を今日の所謂都会生活の幼稚
園に於ては少分であります。或る多少私は考えなから
ならぬ事か思ふのであります。

私は幼稚園でもう少し云ふ事も皆へて宜かと思ひ
ます。それは家に帰りつつ一つ子を抜かせような雲
ふこさら出来ませぬですかが、（笑）この今の運動がすべて楽
になさる。殊に先生のなさる遊戯の手本を見て居る
さ、何だか骨上げ居らぬ、ふらふらをして居る。風鈴の
九 総 論

その…余論さまで申しませうか…余論第一は跡に

決りきった事を申さぬが、もう一度時局的反省を

何層厚の問題を重大である。皆の常に心がけて居る事で

又は論ずる事もあるませんが、これは業に大事な

庭がなしえる範囲にあり。故に家庭の方fadは、

限り本当に子供の健康を増進する所うふる話は難しるのであ

は、幼稚園の先生方が子供の健康に関してその責

任を解除する意味で申すのではありません。其処で余論は
私は養育の立場について考えさせてください。子育ての苦労を経験していますが、前向きに考えると良いです。子供が健康で成長することで、家庭でも諦めずに頑張ることが大切です。子供は成長の過程で様々な問題を抱えることがありますが、それに対し適切な対応をすることで、子供の成長に貢献することが出来ます。

藤本先生は、私の子供に関する意見を積極的に示してくれた。私自身の子供も、時期により成長がある。特に幼い頃は、子供の成長を伴う変化がある。それに対する理解と適応が必要です。子供の成長を支えるために、先生は私に教示してくれた。
目で量れるものは幼稚園で皆さんが仕方なく斯く云ふも
に處して上げて来きたを況ぶ事が、幼稚園が家庭
に適当されて差支へないものと思ふ。自然の事ご思ふのであ
ります。折角先生からお賢ひになりまして、胡乱立表を
帰りに来まして、この胡乱表に基づいて何週目何日お揃
いにこれから必要でありませぬ。今更幼稚園で幼児の栄養問
題はこれからも残つって居りますが、若さ者子供を日課
に置いて日光にあてなないようにする方もありませぬ。何
さくく摂取を幼稚園に於ては何が問題であるか。話は常
にこの前から表に前の處へ押して来て居りますが、私は姪
の處で常より前過ぎてお話しするのも恥しい事であります
が、幼児健康の為に保育諸君の健康を第一要件といたします
う云ふ問題であります。

保育諸君の健康さは保育諸君の役務を果しにする為に
必要である事は云ふ迄もありませぬが、私はその每日信頼

餘論第二の問題は全く別事にありましては思は思ふ時局
に即しての問題になるのでありますから、今日の時局は改め
て中上げる迄もないと如く、国が余の要する時なのでありま

十 餘 論（二）
矢減に金の要る時なのであります。あの渋山の戦費を補って行かなければならぬ金の要る時期なのであります。何にしても、私の云ふ件が出来るのは、この処で幼稚園を立てるものですから、特にこの件が重要であります。故に、私の云ふ件を立てる必要がございますから、この件について申し上げますと、この件について申し上げますと、この件について申し上げます。

補って行かなければならぬ金の要る時期なのであります。何にしても、私の云ふ件が出来るのは、この処で幼稚園を立てるものですから、特にこの件が重要であります。故に、私の云ふ件を立てる必要がございますから、この件について申し上げますと、この件について申し上げますと、この件について申し上げます。

補って行かなければならぬ金の要る時期なのであります。何にしても、私の云ふ件が出来るのは、この処で幼稚園を立てるものですから、特にこの件が重要であります。故に、私の云ふ件を立てる必要がございますから、この件について申し上げますと、この件について申し上げますと、この件について申し上げます。
執っただくるならば、私は一週賃金を掛けて来るようになるのが、何と決して役立つものではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではないのでありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではないのでありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではないのでありません。前にも述べた通り、私は決して賃金を掛けて来るような所ではないのでありません。
相談みませぬ、一日百円で宜かし思ひますが、笑脅計
算が面倒になりまますか一日一銭にて下さけ、一日一銭が貯金して下さけ、一日一銭はイヤで歳暮金事、我慢相
す事か、自給げく物当ります事か、私は計算して居りませ
ぬ。（笑）又に角一銭を貯金して下さけ、一年に貯め
四百三十円八十銭となるのでありませぬか、笑脅幼
の方は御自身お忘れにならず、保母さん方は毎日
か宜しいと思ひます。一週一度なくて云ふことも忘れ
いますか、保母さんは毎日
変わった問題も起こって来るのではないか、斯う思ふのであ
ります。

余論の第三を申し上げて終る事に致しまますが、健康に於て
私は相違さに耐へ、力をいっぱい出してみる積極體育のや
うな事を説きましました。（リズムに合せて唯和やかに踊って居
る）云ふ以上に、つつきは力行を価値のない事を加味し得
るか云ふやうな事を計画し、経済の方は節約一點張りで
取扱って來ましたか、一方でそれ程に力ち、一方でそれ程
に節約して居りますと時局に於て、最も力ちでならばもの
は保母さんの方は質素さに於て幼に在り家庭に節約を騁へても充
ては保母さんの質素さに於て幼に在り家庭に節約を騁へても充
ての効果を果すものでなければかう思ふのであります。

十一
餘論

（二）

（三）

非常時の空気は満ちて居りますこの時期に於きたして、一
切の事これに添ふ子供を遠れて行きますこと時局に、この
時局に於て何となく荒つぼい、何となく殺伐たる、
非常時計に於て何となく荒つぼい、何となく殺伐たる、
非常時計に於て何となく荒つぼい、何となく殺伐たる、
非常時計の空気は満ちて居りますこの時期に於きたして、一